

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0590300240		
法人名	株式会社 清流		
事業所名	グループホームおものがわ		
所在地	〒013-0208 横手市雄物川町沼館字佐田10-1		
自己評価作成日	令和5年9月6日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.akita-longlife.net/evaluation/">http://www.akita-longlife.net/evaluation/</a>
----------	---

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会		
所在地	秋田県秋田市下北手松崎字前谷地142-1		
訪問調査日	令和6年3月13日		

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

周囲には横手市雄物川地域局、図書館、協力病院、横手警察署雄物川駐在所隣接し、向かいには24時間稼働のコンビニと会社や大型スーパー等の社会資源に恵まれた立地環境下にある。

また、数百メートル先には同法人のショートステイがある為、災害時等の応援や支援協力体制が確保されている。医療面においては、協力医院の緊急時の往診を頂けたり、訪問看護の24時間連絡体制など整っている。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

コロナ禍で制限されることが多い中、訪問理美容の方との交流は長く続いて馴染みの間柄となっており、職員は利用者の心身の状態に合わせてホームでの生活を支えています。また、法人のバックアップがあることで、職員の資格取得に前向きに取り組むことができ、スキルアップに繋がっています。

#### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~46で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
47	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:19,20)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	54	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:8,9,15)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
48	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:14)	<input type="radio"/>	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	55	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,16)	<input type="radio"/>	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
49	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:19)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	56	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/>	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
50	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:30)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	57	職員は、生き活きと働けている (参考項目:10)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
51	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:41)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	58	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
52	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:24,25)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	59	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
53	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「そのひとらしくのんびりゆったりと・・・」の理念の下、理念に沿ったケアを心がけ、職員全員が理念の共有を図り実践に向けて取り組んでいる。	ホームの理念をベースにして年度目標を設定し、更にユニット毎の目標を設定して日々のさまざまな支援に反映できるよう取り組んでいます。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所では、食材の注文、配達や馴染みのある美容院を受け入れて地域交流に力を入れている。	利用者が地域の方と触れ合う機会が従来のようにはありませんが、訪問理容は近所の方に向けてお願いしており、事業所自体はこれまでと同様に地域の一員としての交流を続けています。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	GH事業として、地域から協力や理解を頂き、電話相談やGHへの相談訪問をもらうこともあり、当社のショートステイとの連携も通じて地域の方々に事業所として貢献を図っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	新型コロナウイルス感染防止により、前年度は出席予定者に文書による情報提供・報告を行った。今後は以前のように2か月に1回開催していきサービス向上に活かしていきたい。	文書による会議が続いています。ホームの状況報告にとどまり、積極的に意見をいただくことがないため、運営に活かす機会とはなっておりません。対面会議の開催時期を模索しています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	行政、地域包括や居宅事業所、病院関係においても積極的に連絡を取り合いながら情報共有に努めている。市町村福祉担当者には運営推進会議にも参加してもらい協力を得ている。	介護相談員の受け入れを継続しており、利用者との会話を記録に残していただくと共に、相談員を通じて地域の情報を収集しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束及び虐待をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」及び「高齢者虐待防止関連法」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組むとともに、虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束をしないケアに取り組んでいる。事故の危険性の高い方に関しては、ご本人・ご家族の了承を得て、ケア提供が困難な時間帯、職員配置等に支障のある場合のみ対応している。また、外すことがゴールであることを全職員が理解し、安全に生活が出来るようにケアに当たっている。	定期的な研修等で周知を図り、身体拘束、虐待のないケアに取り組んでいます。	
7		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修などで学ぶ機会を持つようになっている。制度については入居者の方たちが必要とされる状況と活用性について話し合い、活用できる支援としての理解に努めている		
8		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	見学訪問や入居時の契約において、また解約時のについても十分な説明をさせていただいている。サービス提供内容や退去後の施設選択、社会資源等の活用も説明させて頂き、不安をいただくことのないように努めている。		
9	(6)	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、要望、苦情等を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、適切に対応するとともに、それらを運営に反映させている	行政の介護相談員の受け入れや運営推進会議において、運営状況の発信やご家族へのアンケート送付などを通じて施設内の状況をお伝えし、利用者の方たちやご家族が抱えている要望等を反映できる体制に努めている。	家族アンケートでは感謝の言葉が多く聞かれています。集計結果を報告すると共に家族の訪問時や電話で意見、要望の引き出しに努め、利用者の暮らし方、運営に反映できるよう取り組んでいます。	
10	(7)	○運営や処遇改善に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営や職場環境、職員育成等の処遇改善に関して、職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを適切に反映させている	職員会議や各担当者会議、ケア会議、毎日の申し送りを含め職員の意見や提案が発信できる場を設けている。職員の自己評価表においても声として出せず抱えている思いを記載してもらい、ヒヤリングも行うよう努めている。	職員が意見を出しやすいように事前に検討事項等を記入してもらい、ケア会議で話し合っています。職員の意見、提案は管理者会議で法人に伝えられて円滑な支援に繋げ、運営に反映させています。	
11		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	行政との繋がりとは勿論のこと、地域の介護保険事業所との交流等、地域とのネットワーク作りを通じて質の向上に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者ご本人とご家族、担当ケアマネジャーを通じて趣味や生活歴等の情報収集を図り、安心してGHの生活が出来るように要望、思いを傾聴し良い関係づくりに努めている。		
13		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約前、見学時においてご本人やご家族が現在何で困っているのか要望等を十分に傾聴し、ホームでの生活を不安なく利用して頂けるよう信頼関係に努めている。		
14		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人が出来ることへの見守りと出来ないことへの支援を図り、全職員が気づきを共有しながら安心して生活ができるよう関係づくりに努めている。		
15		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月担当職員からご家族へスナップ写真も同封しながら、生活状況をお伝えしている。特に健康面においては電話でもご報告したりしながらご家族と共に支え合っていく関係に努めている。		
16	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように、支援に努めている	ご家族の了解を得て、友人やご近所の方との面会訪問を受けていたが、現在は感染症の件もありご遠慮頂いている。	訪問理美容の方とは顔馴染みになっており、家族と携帯電話で繋がっている方もおります。コロナ禍の制限がある中で可能な限りできることを続け、関係継続の支援に努めています。	
17		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の方たち同士が他の方たちへ支障なく雑談できるように席替えをしたり、別の場を設けたりし、孤立しないよに支援に努めている。また、職員と共に入居者の方へ入室し、馴染みの関係構築の支援を図っている。		
18		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後もご本人やご家族に寄り添い、介護保険サービスについての相談や情報提供に努めている。また、在宅サービスや施設入所についてもできる限りのフォローを図っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向、心身状態、有する力等の把握に努め、これが困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの暮らしにおける要望や訴えを十分に傾聴することに努め、職員の気づきも含め、可能な限り意向に沿いながら支援している。職員配置も検討し、外出支援、ご家族への伝達等ご本人の意向把握に努めている。	利用者の思いは普段の生活の中で把握するようにしています。職員が気づいたことも記録して共有し、ホームでの暮らしに反映できるよう努めています。	
20		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人の趣味や生きがい等情報収集に努め、馴染みの物品を置いて頂くこと等、GH生活に活かせる環境整備を図っている。入居後はご本人の動線を確認し、再度居室内の環境整備を行っている。		
21	(10)	○チームでつくる個別介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した個別介護計画を作成している	前担当CMからの情報やご本人の意向、ご家族の意向をもとに職員からの気づきを収集し、プラン作成に当たっている。認知症状は提供された情報と異なっていることも多いため、入居後の状態に合ったプラン作成に努めている。	担当職員がモニタリングを行い、カンファレンスで意見を出し合って現状に即した介護計画を作成しています。	
22		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や個別介護計画の見直しに活かしている	個人ケア記録用紙に支援目標を入れ、記載方法なども工夫している。既往歴や気づき等を全職員が共有でき、プランの実践や見直しを含め、職員全員で取り組んでいる。		
23		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	グループホームに隣接する大型スーパーや公園があり。社会資源を活用し買い物や散歩に出かけている。お天気具合を見ては河川公園までいっている		
24	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	従来の主治医との連携を図りながら往診もお願いし、GHでの生活状況や身体機能の状態を報告し適切な医療の確保を図っている。また、緊急時にはご家族の了解を得て当ホームの協力医に情報を提供し指示を仰ぐなど支援体制を築いている。	入居時に確認してホームの協力医に変更した方もおりますが、入居前からのかかりつけ医で受診している方もおり、それぞれのかかりつけ医と連携を図りながら、状態に応じて適切に支援しています。通院できない方には訪問歯科診療が行われています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	2週間に1回の訪問看護体制や24時間体制で医療相談等が出来る体制である。入居者全員のリスク管理表を訪看事業所にお渡ししており、的確な指示を頂くことが出来ている。また、ご家族も相談できる体制である。		
26		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	病院のMSWを通じて治療計画を頂いたり、ムンテラの場合へ参加や、退院時にはサマリを提供して頂きながら早期復帰に向けた対応を取っている。また、病院との連携や協力体制の構築を図っている。		
27	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時には必ず説明させて頂いている。ご本人の状態が重度化した場合や看取りのあり方について、ご家族の意向や事業所として支援できる状態なのか協力医院を交えた話し合いの場を設ける等、支援体制に取り組んでいる。	対象者がいない期間が続いていますが、これまで家族の希望に応え、多くの看取り支援が行われています。	
28		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応はGH職員の連絡網やフローチャートに基づきマニュアル化し事業所カウンターに設置されている。また、全職員が事故発生時における対応を都度話し合い、実践に向けた対応も訪看と連携をとりながら指導を受けている		
29	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の消防署立ち合いの訓練を実施し、災害に対する避難方法や対策に取り組んでいる。火災や地震、水害時の応援体制は近隣の方の参加を依頼し、協力体制の構築を図っている。	夜間を想定した訓練を行い、近隣及び法人間の協力体制もできています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の入居者の方の人格は勿論、自尊心を傷つけることのないよう声掛けや対応に配慮している。職員のアンケートも実施しながら、一つの声掛けがその方を否定することがないよう職員間で対応を心がけている。	声かけの仕方に配慮することを特に注意しており、職員アンケートを実施することで意識づけを図っています。	
31		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	日常的に雑談の中から思いを引き出したり、希望を聞き出したりしながら、実現に向けた対応に努めている。それがご家族への思いであれば、電話やお手紙を通じて叶えられるように働きかけている。買い物、ドライブなど施設で出来ることであれば支援している。		
32	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人一人の嗜好や状態を把握し状態に応じた食事形態に配慮しながら、職員が同じテーブル席に着き見守り介助を行いながら楽しい食事の場となるよう支援を図っている。	外食を控えていることから、誕生日や季節の行事に合わせて食事を提供することで、楽しい食事場面となるよう支援しています。	
33		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	季節の旬な食材の仕入れや食べたい食材、おやつや飲み物等の聞き取りもしながら、栄養バランスや地域の習慣となっているおかずの提供などの支援を図っている。入浴後と夜間帯はポカリの提供も行っている。		
34		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後は必ず職員が付き添い、口腔ケアを行っている。義歯は毎日消毒管理をし、汚れや臭いなどで他の方が不快にならないように配慮している。		
35	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の排泄パターンの把握に努め、誘導標活用や便秘予防の為の食材、おやつへの選択に心がけている。排泄に失敗しても自立に向けた支援を行っている。	トイレでの排泄を支援しています。自立の方もおりますが、失敗することが多くなった方も増えてきており、チェック表を使用しながら一人ひとりの状態に応じた支援を行っています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	上記同様便秘予防食の仕入れや調理方法、レク活動を通じた運動の場を提供し、薬に頼らない排泄が出来るよう支援に努めている。		
37	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一人一人の健康状態をみながら時間帯と順番等を話し合い、入浴の時間が楽しみになるよう支援している。	1日おきに入浴しています。身体状況に配慮してシャワー浴で対応している方も、入浴できることを喜んでいます。浴室内が新しくなり、利用者、職員にとって使いやすく改修されています。	
38		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居前の生活習慣等を前ケアマネやご家族より情報収集し、居室内の物品の配置や照明等、安心して生活できるような環境整備に努めている。また、室内の動線を確認し合い、安心安全な室内で良眠できるよう支援に努めている。		
39		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医療機関から処方されたお薬は、服薬説明書により、効能、副作用の確認を職員同士で確認し合い、不明な点は協力薬局へ連絡を入れ、指示を頂いている。		
40		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人が趣味の継続や楽しみを見つけ出すことへの支援、生活歴を活かした役割を提供できるよう支援している。花植え、掃除、裁縫、洗濯たたみ、食器拭き、モップ掛け等を通じて負担にならないような役割を持って頂いている。		
41	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	まだ頻繁な外出支援が出来ていないが、ドライブや日向ぼっこは行っている。ご家族等の訪問も制限を行う中で、できるだけ支援を行った。	コロナ禍で外出の機会は少なくなり、利用者も外に出たいとは言わないものの、ドライブや散歩に出かけ、少しでも外気に触れることができるよう支援しています。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者の方全員が所持はしていないが、買い物同行時におやつを購入したり、手元に数千円を所持し安心されている方もいらっしゃる為、職員は一人一人がお金を持つ大切さを理解している。また、大切に使うことができる支援に努めている。		
43	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	3回/1日のホーム内の消毒や換気、加湿器等の設置を施し、衛生管理も含め、環境整備にも努めている。また、入居者の方たちが快適に過ごせるよう照明等の備品関係の修理や交換にも配慮している。	浴室内が改修され、脱衣所にカーテンをつける等、改修されて使い勝手が良くなっています。感染防止のための衛生管理を徹底し、清潔な環境づくりに配慮しています。	
44		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各居室内には背もたれ椅子の設置やテレビ等を配置し、互いに行き来しながら雑談できる場の環境づくりに努めている。		
45	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具類を持ち込みして頂き、ご本人が安心して生活できるように配置にも工夫している。位牌を持って入居される方もおり、お水の交換もしている。ご本人が心地よいと感じられる工夫に努めている。	遺影やテレビを持ち込む方や、写真を飾っている方等、利用者それぞれの生活環境がつけられています。	
46		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人一人の既往歴や生活歴が異なるようにその方ができること、支援が必要とすることへの気づきを共有しながら、入居者の方の安心安全な自立した生活を目指して、日々工夫をしている。		